



2026年

ロータリー親睦活動月間

第3290回例会

6月25日(木)

於/国際ホテル宇部ダイヤモンド

会長 清水 昭彦

幹事 河音 篤昌

※夜間例会※

HPにて週報カラー版;掲載中

本日の卓話 **例会場;国際ホテル宇部ダイヤモンド**  
【会長・副会長・幹事・副幹事・理事活動報告】  
小川理事, 大谷副幹事, 河音幹事,  
芥川副会長, 清水会長

次回の卓話(7月2日) **例会場;宇部ゲートタワー401**  
【役員就任挨拶】  
芥川会長, 大谷幹事, 金子(正), 猪熊, 齋藤  
各委員長

○点鐘

○ロータリーソング(それでこそロータリー)

○四つのテスト

○会長の時間

○幹事報告

①6月末をもって西村正彦さん、古谷博司さん、松島隆二郎さんが退会されることになりました。  
長い間、ロータリー活動にご協力いただき誠にありがとうございました。

②今年度理事の皆様、年次報告書を作成に伴い活動報告の原稿を事務局へ**データ添付してメール送付**  
の程、宜しくお願い致します。

○次年度幹事報告

①次週7月2日(木)例会終了後、第1回定例理事会を開催致します。次年度理事、役員の出席を  
お願い致します。早退、欠席の場合は、事前に必ず次年度幹事までご連絡下さい。

○地区大会実行委員会からのお知らせ

地区大会 10/23(金)~10/25(日)の3日間、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

本日地区大会開催時のお手伝いのアンケート用紙を配布します。

地区大会は皆様のご協力無しでは運営することが出来ません。宇部RC会員全員で、地区大会を  
盛会裏に導きましょう!

**地区大会 in 宇部 残り120日**

○ロータリーソング(手に手つないで)

【閉会時】

事務局

宇部市相生町8番1号 宇部ゲートタワー6F

TEL 0836-35-2776

FAX 0836-35-2771

HP <http://www.ube-rc.jp>

E-mail [info@ube-rc.jp](mailto:info@ube-rc.jp)

\*\*\* 例会予定 \*\*\*

- 7月2日 通常例会 役員就任挨拶 芥川会長, 大谷幹事, 金子(正), 猪熊, 齋藤 各委員長  
7月9日 休会  
7月16日 通常例会 役員就任挨拶 氏原, 神吉, 清水, 小川, 光井, 倉員, 松村, 福田 各理事・委員長  
7月23日 休会  
7月30日 夜間例会 役員就任挨拶 高井(信), 平田, 齋藤, 岡田, 清水, 植村, 笹本, 西村(滋)  
各理事・委員長

\*\*\* クラブ 予定 \*\*\*

7月25日(土) 宇部 RC 夏の家族会 ; 花火観覧会 ササキコーポレーション駐車場 18:00 受付開始

☆☆☆☆☆ 只今 i n g ☆☆☆☆☆

興産ビル内で開催の例会にお車でお越しの方は、必ず駐車券をご持参ください。

《駐車場でのトラブル防止のため、各自にて駐車券をご持参ください。》

《駐車券をお忘れの場合は、サービス券をお渡しできませんのでご注意ください。》

※「夏の家族会 花火観覧会」について

《メーカー対応》

日時 令和8年7月25日(土) 18:00 受付開始

場所 ササキコーポレーション駐車場

スケジュール 18:00 受付開始~18:30 開会 (花火大会 20:00) ~閉会・片付け~解散

登録料 大人 8,000円 小中高大学生 2,000円 幼児 1,000円

締切 7月9日(木)

【注; 雨天中止以外の7/21(火)以降のキャンセルは登録料が発生いたします。】

※「RI2710 地区 地区大会」について

《メーカー対応》

全員登録 6,000円 (個人負担分) 全員登録となっております。

期 日	行 事	会 場
10月23日(金)	記念ゴルフ大会	宇部72カントリークラブ 阿知須コース
10月24日(土)	大会諸委員会	国際ホテル宇部
	歓迎昼食会	国際ホテル宇部
	会長・幹事会	宇部市文化会館
	歓迎晚餐会	国際ホテル宇部
10月25日(日)	青少年の時間	宇部市渡辺翁記念館
	本 会 議	宇部市渡辺翁記念館
	懇 親 会	Epoca Base Ube

(欠席の通知は、3日前の午前中までに事務局又は幹事へご連絡下さい!)

特に夜間例会; 3日前迄に。残食防止に、皆様のご協力をお願い致します。

急遽、欠席の場合も必ず早急に事務局までご連絡ください。

**< 宇部ロータリークラブ；例会場予定 >**

2026年 7月	2日	通常例会	宇部ゲートタワー4F	401号会議室
	9日	休会		
	16日	通常例会	宇部ゲートタワー3F	301号会議室
	23日	休会		
	30日	夜間例会	宇部国際ホテル	パール

※7/2 (木)例会後、407号室にて理事会を開催致します。

**<7月の近隣クラブ例会予定>**

小野田 RC (水) A-スクエア	1日	クラブアッセンブリー
	8日	休会
	15日	クラブアッセンブリー
	22日	クラブアッセンブリー ガバナー補佐
	29日	訪問 休会
宇部西 RC (火) 国際ホテル宇部	7日	クラブ協議会(夜間)
	14日	通常例会 理事会
	21日	休会
	28日	通常例会
宇部東 RC (水) ペイザン	1日	会長就任挨拶 18:30~19:00
	8日	夜間例会(宴会なし) 理事会
	15日	夏の家族夜間例会
	22日	休会
	29日	休会

**【 6/18 役員活動報告】**

**【 6/21 7RC 合同親睦ゴルフコンペ】**



平田, 東谷, 高井(信), 古野(ゲスト), 金子(法) 各理事  
清水会長, 金子委員長



姫路ガバナー補佐・脇ガバナーエレクト

委員長 千葉 泰久  
副委員長 齋藤 博  
委員 木下 敏彦

論語は、中国古来の思想家孔子と、その弟子が「人間はいかに生きるべきか」を真剣に語り合った問答のまとめである。2500年前のことだから、日本の歴史は闇の中にある夜明け前のお話である。それが近代文明の中でも立派に通用する「永遠の真理」として現代の我々の胸に響く。

ロータリーの創始者ポール・ハリスの思想にも通ずるところがあるのでは？  
と考へて、職業奉仕委員会のテーマとして取り上げてみた。

ロータリークラブ会員は、それぞれがクラブの経営者たる気概を持ち臨むことも必要で、その為、論語の教えが、経営者として己を磨く一助になると考へて簡単な解説を付け加えた。会員の風度、即ち品格が、それなりに向上することを願っています。

### 1. 「過てば即ち改むるに憚ること勿れ」

自分の過ちを認めると自分の責任になる、とか、つまらぬプライドは捨てて、過ちをすぐ改めるべきである。但し、何んでもかんでも「私の責任です。申し訳ありません」というのではなく「正しいことと正しくないことを見分ける判定力を身につけてその行動を起こすべきである。」ただし、「過ってもそれに気づいていない」というヒトも多い。孔子はそんなのは論外と切り捨てているが、西郷隆盛は「過ちに気づくだけでも良しとしよう」と言っている。

### 2. 「不言実行」

口数は少なくとも、とにかく実行してみようというベンチャー精神の発揮された言葉である。「有言実行」と置き換える御仁が多いが、有言の場合にはその目標へのある程度の目途が立っており、打算と共に発する言葉であり、達成した時のレベルは比べものにならぬほど低い。これを「あの人は言ったことを達成している、スゴイ！」と称賛・評価するバカもこの世には多い。コレは孔子の言葉ではないが。

### 3. 「巧言令色鮮し仁」

口ばかり達者で、他人にお世辞ばかり使うような人間に、他人を大事にし愛情を注げる者はいない。この世渡りだけが上手い人間が昔は出世していたが、最近はどうでもなくなってきたかな？

### 4. 「時には自分自身を振り返れ」

相手の為とその立場に立って本当に物事を考へてあげたのか？友達に対して誠実に付き合ったか？他人からの受け売りや付け焼刃で人に偉そうなことを言ったのではないかとか「吾れ日に三たび吾が身を省（かえり）みる」という、自分自身を振り返ってみることが大切である。

### 5. 「朋あり、遠方より来る、亦楽しからずや」

不遇な時の友情：自分が不遇な時に遠いところから友達や、わざわざ訪ねてきてくれる、その友情は、今の世に受け入れられていない自分の生き様を勇気づけてくれるもので大切にすべきである。

## 6. 「言行一致」

「実行できないことは口にするな、自分の言葉に恥を感じないようでは、とても実行は出来ない」と孔子は言っている。「言行一致を求め、大言壮語」をいさめた言葉か？

大物ばかり言うのではなく、自分の言葉に責任を持ちそれを実行しなさい。さすれば信用もついてくると。

## 7. 「王道を歩め」

中国古代の思想に「王道」と「霸道」がある。

王道：仁や徳を持って行う政治 ⇒王者

霸道：権謀術策によって行う自己中心の政治 ⇒覇者

王者：自分のことはさておき、能力のあるものを見出し組織のより良い完成を目指す。

覇者：自分のことばかり考えて、権謀術策を巡らせては他人を次々に陥れる。

この王道が行きわたれば「職場における真実の世界の実現」に繋がる。王道を歩んでほしい。

## 8. 「一期一会」

「人間がその一生において、たった一度会えるひと、あるいはその機会」というのが普通の解釈だが「優れた人に出会えば同じようになりたいとなと思い、愚かな人を見た時には自分もああいう人間ではないかと反省する」ことに通ずると孔子は説いている。長年月の顔なじみで、嫌いな人でも、必ず学べる場所があり、語れるところがある。逆にこっちに学ばせる場所もある。人の付き合いとはそういったもので、総てを超越して「時に学び、時にかたり、時に学ばせる」という付き合いを大事にすべきだと。

## 9 「才をひけらかすな」

貧乏であっても、学問を、道を追い求めることを楽しみ、お金持ちであっても奢ることなく、人に謙虚に礼をつくすという姿勢に勝るものは無い。

才気ばかり前に出て、口先ばかりの男に大したものはいない。才をひけらかしても、世の中では、単なる道具に過ぎないと。

## 10. 「四十にして惑わず」

不惑という言葉は、特に有名な言葉だが、孔子の説く「人生設計を考えた時、その年齢における生き方の目標」と言える。

「四十歳になると、社会的地位や家族の関係もあり、思うような方向へ舵を切り替えることは難しい。だから途惑うべきではべきではない」という一種の責任を果たすべきとの言葉だが、孔子の時代は「人生五十年」という設計だから、

「立志十五」「自立三十」「四十不惑」「五十知命」となっていたが

現代においては「四十にして立つ」がふさわしく、四十にして惑わずではなく、大いに惑い新しい道を、方向を目指し、生命の完全燃焼を行うべきであろう。

## 11. 「温故知新」

古いことをもう一度検討し直して、新しい事実に向かい合えば、必ず人に学ばせることができる・・・と孔子は述べている。

今のような複雑な世の中になると、何が起こるか分からないし、何が起こっても不思議はない。それを乗り切るための、モノサシに歴史がなることがあるかもしれない。

新しい道を切り開くために参考になることがあるやもしれぬということで、昔は良かったということではない。

## 12. 「親しんでも狎れるな」

「立派な人は、広く親しんで交友を温めるが、狎れきって一部の人のにおもねるといったことはない」と孔子は説いている。

親しくなったからといって交友に甘くなる人が増えると、その集団は付和雷同の群れと化してしまう。

## 13. 「オーラを持つ」

人は、人から信頼されるということが重要である。信頼されない人は何をやってもダメである・・・と孔子は述べている。

さすれば、その信頼の実体とは何か？それは人の持つ「風度」と云われるものである。

他人に、この人の言うことなら信頼できる、この人のやることなら共に行動できると思わせるような、その人自身が発する一種のオーラ（気）のことと言える。

風度を高めて人望・愛嬌・魅力・カリスマ性などの混合物ともいえるオーラを持とう。

## 14. 「功績を自慢するな」

「功績を立てても、決して自分からはそれを自慢しない」ということは勇者の奥ゆかしさを語るエピソードである。

自分がついていたから上手く出来たのだとでも謙遜して言うておけば、ヒトの妬みも買わないし、得るところがかえって多くなるものである。

## 15. 「富は正しい方法で手に入れる」

孔子は、富を得ることを頭から否定しているのではない。彼の時代には、不正な手段でないと、富はなかなか手に入りにくいという背景があったようだ。

不正な手段を避けて、貧苦にあえぐ生活になったところで、孔子は何ら悩むことなく生活に楽しみを見出せると述べている。

現代のあくせくした社会に生きている私たちにとっても、ヒトとしてそうありたいと、頷くものであろう。

## 16. 「率先垂範せよ」

トップやリーダー層の心得といえる。部下に対して、嫌なこと、辛いこと、痛みを覚えるようなことを命ずる場合には、それなりの形を持って、自分が自らそれを行わなければ人はついてこない。企業における経営改革においても、下のものだけに犠牲を求めるのではなく、上層部自身が身を切る改革案を推し進めねば上手くいかない。

## 17. 「虚勢を張るな」

孔子の生き様に四つのことを、しない！という方針があった。

わがままな心を持たない、ごり押しをしない、変なこだわりを通さない、我を張らない、ということに留意したと。コレはリーダーの持つべき条件ともいえるか？

私心を持ち、ごり押しをし、ものにこだわり、そして我を張る・・・リーダーが散見されるのではないか？

## 18. 「善い人の真似をする」

孔子は、三人で行動すれば、その中に必ず師を見つけると言っている。

善い人を選んでその真似をし、善くない人を見れば、その善くないことを、わが身に引き比べて己を直すからだ。

## 19. 「リタイア後はのびやかに」

孔子が、諸侯を説いてまわるのは止めて、郷里に戻って後進の教育に専念しようと考えた生活は、実にくつろいで、のびやかでにこやかであったという。

第一線を退いた者の心得というべきもので、リタイア後も未練な気持ちを持ってアレコレと余計な口出しをしたり、干渉したりするのは絶対に避けるべきである。

孔子のように、ゆったりとにこやかな姿勢を保っていれば、時には後輩や、先輩などが「こんなことが起こりました。いい知恵を貸してください」との相談に来ることもあるかも。

## 20. 「物事の成否は最後のひと踏ん張りにある」

最後の詰めが甘いのは、やっている本人の忍耐力の不足からくる。もうダメだと思ふ気持ちが、折角積み上げてきたものをガラガラと崩してしまう。

物事の成否はすべて最後のひと踏ん張りに掛かっている。

## 21. 「後世畏るべし」

国の覇権を似た者同士で争っているが、次世代ともいべき賢者に目を向けねばならない。

今どきの若い者は・・・云々 とダメ出しをすべきではない。

自分たちが若い時に、そういう先輩がいたように思うが、何とか新しい道を開拓してきたではないか。若者の可能性に期待し、それを引き出すのが先達の道である。

古代ギリシャのプラトンは逆のことを言っていて嘆いているが。「最近の若い者はまるでイカン。

目上の者も尊敬しないし、親には反抗する、法律も無視している。先はどうなるのだろう？」と。一方日本では与謝野晶子が「若さは素晴らしい、恐ろしい。若さの前には不可能も陰鬱も何もない。一切の希望を切り開く太陽のようだ」と明るい希望に満ちたメッセージを発している。

## 22. 「先例の中に真理は潜む」

中国古代の王朝は、その前代の王朝の制度を受け継いで進んだが、その制度を丸ごと受け継いだわけではない。ある部分を廃止したり、ある部分を新しく付け加えている。これを繰り返していくわけだから、十代先、百代先の王朝の姿を予想できる。

現代の日本は戦国時代と幕末の開国時代がダブって訪れた時代だというヒトもいるようだ。

リーダーや経営者が持つべき条件の最大のもの「先見力」であるが、

コレは、感や才能に頼るものではなく、過去の統計を綿密に分析することから身につけていくものだと言っている。

## 23. 「三年先の展望を持て」

論語では「国家財政の在り方」も言っている。

一年先、三年先、五年先の飯を確保するためには、長期的な計画を立てて実行する。同時にそのための「ひとづくり」も行うと。

現代の企業では、三か年計画など、当然のこととして実行されている。政治の世界でも高市内閣が少しコレのカラミを口にしているようだ。

## 24. 「小さな見で断定するな」

論語には君子と小人が出てくる。

君子は、他人の言うことをよく聞き、相手の立場に立ってものを考える。そういう優しさや思いやりを持っている。

小人は自分の考えを唯一無二のものとして、それで他人を断定する。自分の考えが正しいので、他人もそう考えるだろうし、考えるべきだと断定するわけだ。

職場のリーダーにこの了見の小さい小人がつくと厄介である。器が小さい、その小さい器の中に、他人をも全部取り込んでしまおうとするからである。  
総ての分野で君子たらんとすることはないが、出来るだけ君子たる分野を増やしていくべきである。

## 25. 「己の欲せざる所は人に施すこと勿れ」

現代では、孔子のこの言葉を「己の品格を磨くためのゴールデンルール」と呼ばれている。「自分がしてほしくないことはヒトにもしない」と思いやりの大切さを伝える章句である。例えば「相手が約束を守ってくれないのはイヤだから約束は守る」という論理なので解り易い。これを頭において自分の品性を高める努力をすべきである。

## 26. 「売る時は買い手を選べ」

美しい玉を持っているとしたら、それを箱に入れてしまいこんでおくか、それとも買い手を探しますか？との問いに孔子は、勿論売るし、売り込みを否定はしないが、いい商人が買いに来るのを待っているよと答えている。

当時の獵官活動の自肅を促した言葉といえる。孔子という玉を安易につまらぬ政治家に自ら売り込むような真似はしないという主張。

→野に遺賢なし（優れた人は外部がほっておかないの意）が廃れてきていたのを嘆いていたのかも？

## 27. 「何よりも信頼を大切にせよ」

政治をよくするには？の問いに「食糧、軍備を十分に人民の信頼を得ることだ」と答えている。さらにその大切さの順位を訊くと、まず軍備を捨てる。次は食糧だと。人民は食糧がないと死が待っているがヒトは死から免れるわけにはいかない。必ずどこかで死ぬ。しかし、人民の信頼を失ったら、国家は立ち行かないし安定もしないから信頼が第一である」と。

## 28. 「人を憎む気持ちも自然な感情だ」

忠と信を第一にして正義に近づいていくことが、即ち徳を尊ぶことになる。愛している時はその人の長寿を願い、一旦憎みだすと、その人が死ねばいいと思う。コレも普通の人の感情で許されるものだが、徳を持って穏やかに対処していくべきだと。

## 29. 「自らの行いを正せ」

人民の上に立って政治を行う者が、質素儉約を旨とする無欲な生活を送っていれば人民達もそのいい影響を受ける。

江戸時代の大名もこの影響を受け、自分の藩に犯罪者が多いとこれを恥じたという。

一日も早く牢獄が一つも無くなるよう、良い政治を行わねばならないと。

## 30. 「”心の指数”を高めよ」

正直で正義を愛し、人の言葉の意味を深く考え、相手の心持をよく理解し、そしてよく考えたうえで人にへりくだって対応することが肝要で口先だけの言動を戒めている。IQ社会、学歴社会の弊害を唱え、知能指数社会ではなくてこれからは心の指数社会にすべきとアメリカの知識人が唱えていたことがあるが、論語とか日本人魂とかにも、目を向ける価値があるのかも？

## 31. 「部下を突き放す非情さをもて」

忠告や助言をする際に相手の立場に立って、相手が受け入れられるような内容や話し方が必要。ヒントや目的を教えればそれ以上は不要で、あとは自分で考えるように仕向けるべきであると。ある面、非情さを持って部下を育てることも必要となると。部下への深い愛を抱くことは当然だが、甘くなるとは逆に育たないのだと。